

■梅沢孫太郎 水戸藩士。最後の将軍徳川慶喜の側近として困難な職務を全うした。

うめざわまごたろう

杉田玄白没・1817= 水戸藩鉄炮方師範役国友尚之の三子に生まれ、

水野忠成老中1818= 1歳 : 同藩士梅沢氏を嗣いだ。

..... 1826= 9歳 :

滑稽+人情本 1835=18歳 :

大塩平八郎乱1837=20歳 :

\_藩主徳川斉昭に仕え、

\_徒目付より吟味役・大納戸奉行に進んだが、

天保改革終・1844=27歳 : \_斉昭の失脚により、馬廻番に左遷された。

阿部正弘首座1845=28歳 :

ペリー来航・1853=36歳 :

桜田門外変・1860=43歳 :

生麦事件・1862=45歳 : \*原市之進らとともに家老大場一真齋に従って江戸に出て国事に奔走、将軍後見職一橋慶喜上京の際の随員に選ばれ、市之進らと上京、

8月18日政変 1863=46歳 : \_慶喜に従って帰府したが、慶喜の関白鷹司輔熙に宛てた後見職の辞表を携えて上京し、折からおこった老中格小笠原長行率兵上京の風説を関白に言上し、京都の人々を震撼させた後、再び慶喜に従って上京、

禁門の変・1864=47歳 : \*慶喜が禁裏御守衛総督となるや、市之進とともに望まれて一橋家の雇となり、京都にあって本国寺党の領袖となった。慶喜が武田耕雲斎・藤田小四郎ら追討のため出陣するや、先鋒を命ぜられて敦賀に赴き、耕雲斎らに大義を説いて降伏を勧めた。

薩長同盟・1866=49歳 : \*慶喜が宗家を継ぐや、高知・鹿児島・佐賀・熊本の諸藩に赴いて藩主の上京を促し、帰京して幕府から目付に抜擢され、慶喜が將軍職につくや、その幕政改革を輔佐し、市之進とともに最大の功績。

大政奉還・1867=50歳 : \_兵庫開港の議決するや、幕府の小臣はこれをもって孫太郎らが慶喜に勧めた勅許を強請させたと信じ、これがため市之進は暗殺されるが、幸い難を免れ、慶喜が大坂に退く時、二条城引渡しのことを命ぜられて京都にとどまり、松平慶永と慶喜のために周旋。

明治維新・1868=51歳 : \*大目付に進み、政府軍東下の時は謝罪使として中山道の政府軍本營に向かう。

廃藩置県・1871=54歳 : \_のち慶喜に従って駿府に移住し、その家扶となった。

明治6年政変 1873=56歳 :

..... 1880=63歳 :

明治14年政変1881=64歳 : \_没した。